

令和5年度 系の研究活性化プロジェクト成果報告書

系名	多文化教育系
プロジェクト名	グローバル化に対応できる国際性豊かな教員の資質向上をめざした 海外短期派遣プログラムの開発
プロジェクト概要	<p>グローバル化の進展により、グローバル化に対応できるだけの国際性豊かな教員養成の必要が高まっている。グローバル人材の育成に関しては、本学においては、平成24年～平成31年にかけて実施された「海外教育実習体験(台湾)プロジェクト」等の試みがあり、同プロジェクトの成果は、現在の教職大学院における「他地域教育実践演習」へとつながっている。</p> <p>今回は当該授業の本年度の受講生である教職大学院M2生2名が考案した「オノマトペを活用した小学校英語教育」の授業を台湾で実施することにした。本授業の特徴は、日本語の特徴の一つであるオノマトペを異文化理解と言語習得の手掛かりにすることにある。本授業の概要を簡単に示せば、日本語のオノマトペを幾つか学習した後、複数のオノマトペが出てくる物語を紙芝居にして英語で読み聞かせ、オノマトペに親しみを持ったうえで、オノマトペを活用した絵本の創作につなげていくというものである。オノマトペが持つ音による象徴性によるわかりやすさを手掛かりに、オノマトペによる表現が他言語話者にとっても物事の直感的理解につながるのではないかという仮定のもとに、構想された授業である。本授業の実施を通じて、日本における英語での授業、或いは外国にルーツを持つ子どもたちの言語学習への対応といった、これからの教育課題に対し対応することのできるグローバル人材としての資質能力育成を行うことが本プロジェクトの狙いである。</p> <p>今回派遣先として選んだ台湾においては、2018年12月に国家発展委員会が提案したバイリンガル国家政策発展計画図が行政院を通過したことにより、2030年を目標に母語と英語を基軸とするバイリンガル国家となることが目指されており、現在台湾の小学校や中学校では、公教育による英語と中国語の習得を目指した授業が数多く展開されている。加えて、実習校とした高雄師範大学附属中学小学校部は、上記台湾プロジェクトによる長年の受け入れの経験があり、大学院生による英語の授業に対する支援体制が十分に見込める。以上のことから、英語で行う本授業の実施に際しては、台湾・高雄師範大学附属中学小学部がふさわしいと判断した。</p> <p>2023年11月1日～3日、大学院生2名と帯同の教員2名が渡台し、11月2日に観察実習を行った上で、翌日3日に小学校5年生のクラスで、クラス担任の協力も得ながら2時間目(オノマトペを学習し、紙芝居を理解)と4時間目(オノマトペを活用した絵本創作)に授業を実施した。</p>
プロジェクト構成 員 (リーダーに※)	成實 朋子※ 王 林鋒 橋本 健一 中野 知洋